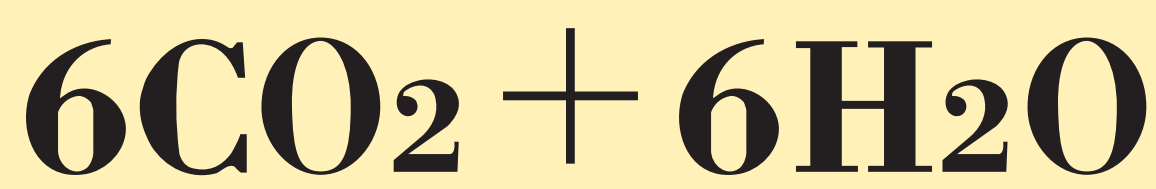
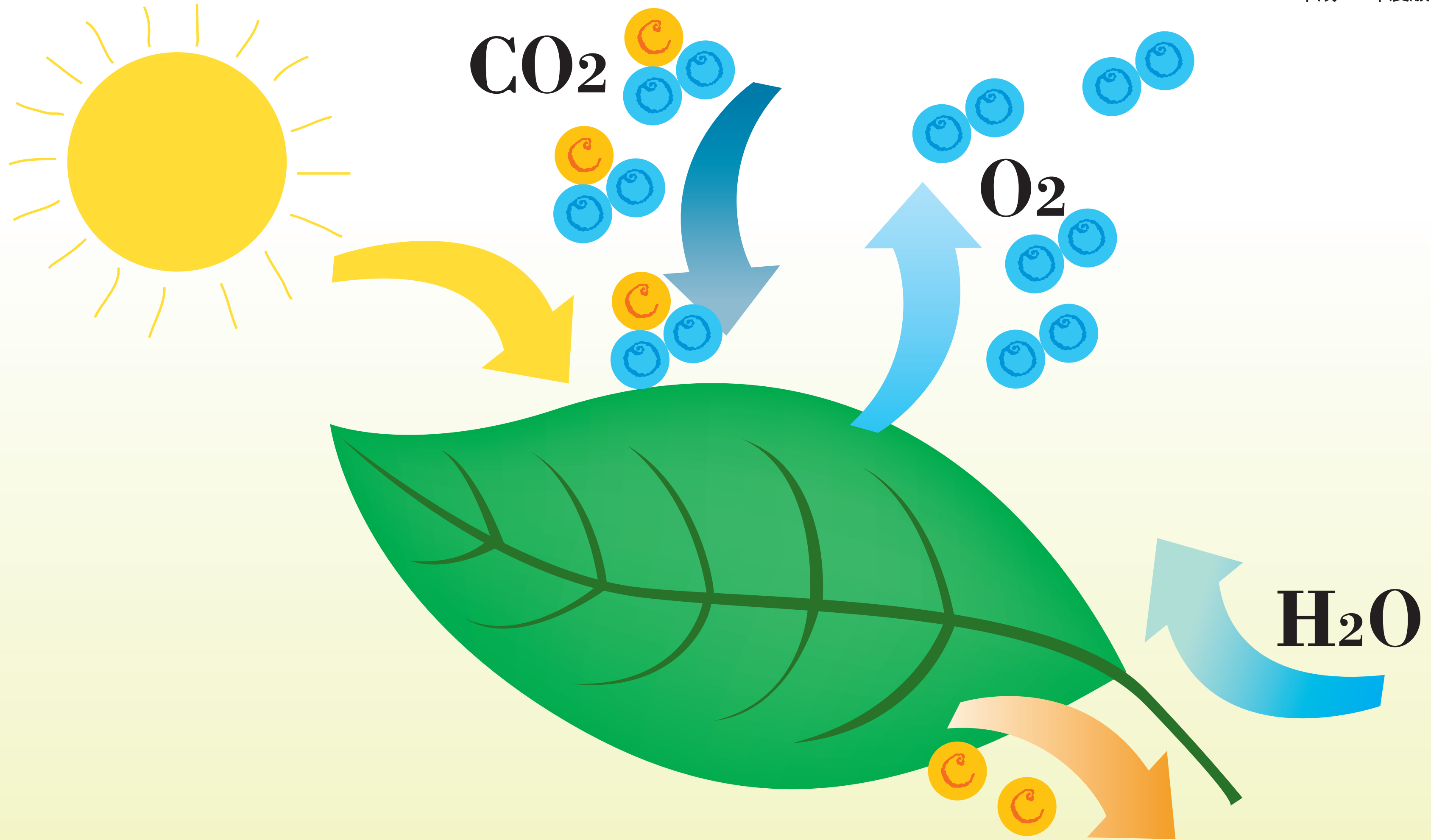


森林が温暖化を抑えるしくみ

光合成のしくみ

森は、太陽からのエネルギーを得て木を成長させています。葉っぱから光と二酸化炭素、根っこから水を吸収し、葉緑素のはたらきにより糖をつくり出し、酸素を吐き出します。日本の森が1年で吸収する二酸化炭素はおよそ1,090万炭素トン(3,997万CO₂トン)になります。

※平成22年度版森林・林業白書



光のエネルギー



二酸化炭素(CO₂)は、地球温暖化の原因となる温室効果ガスのひとつです。木材は太陽エネルギーの働きにより二酸化炭素を吸収して成長し、製材品などに加工された後も、燃やされたり、腐朽するまで炭素を固着し続けます。

